

第 146 回 日本数学会九州支部例会 プログラム

日時 : 2022 年 2 月 12 日(土)10:30-16:00

開催方法 : zoom

● 一般講演 午前の部 (10:30-11:45)

末永雄大 (大分大学大学院 工学研究科 15 分)

指数型不定方程式 $x^2 + (2\alpha \cdot p)m = cn$ と $2l + pm = cn$ について

児嶋 智司 (大分大学大学院 工学研究科 15 分)

指数型不定方程式 $2lpm + 1 = (2p \pm 1)n$ について

仲敷沙耶 (大分大学大学院 工学研究科 15 分)

ゴールマハティヒ予想の類似問題と Thue 方程式

白石直輝, 久保翔平, 中田寿夫 (福岡教育大学 15 分)

搭乗券の紛失問題における独立性について

境 優一 (九州大学 15 分)

On modular solutions of a certain modular linear differential equation for cocompact groups

● 2021 年度 九州若手数学賞および発表賞の受賞者報告 (13:30-13:40)

● 2021 年度 九州若手数学賞 受賞講演 (13:45-14:00)

西山 雄太 (熊本大学大学院 自然科学教育部 15 分)

2 被約 Schur 関数と Schur の Q -関数に関する予想について

● 一般講演 午後の部 (14:00-14:45)

米村拳太郎 (九州大学大学院 数理学府 15 分)

一葉双曲面上のカンドルと longitudinal map

平之内俊郎 (九州工業大学 15 分)

Ramified part of the geometric fundamental groups for curves over a p-adic field

田畑純孝 (熊本大学大学院 自然科学教育部 15 分)

B 型 Weyl 群の statistics について

● 特別講演 15:00-16:00

塚本真輝 (九州大学 1 時間)

タイトル:平均次元入門.

アブストラクト:Gromov は 1999 年の論文で, 力学系が「単位時間あたりに持つ次元」という量を定義した.この量は平均次元と呼ばれる.この理論の基礎とそのモチベーションなどについて説明する.

同じ内容を 2021 年春の日本数学会で講演したので, そちらをすでに聞かれた方は聞いていただかなくても結構かと思います.

支部評議員

瀬片 純市 (九州大学)

梶木屋 龍治(佐賀大学)

笹平 裕史 (九州大学)